

ゆるり

本づくり応援マガジン VOL.26

特集

「時を紡ぐ」未来への継承



浜辺 耕作「平和公園 少女像」

竹田信平／和氣直子 共著

海を超えたヒロシマ・ナガサキ

長崎県被爆者手帳友の会被爆70周年誌

—過去から未来への継承—

指山満治／佛坂泰治 共著

特攻戦艦大和 高射長 川崎勝己

日米開戦から連合艦隊終焉まで

浜辺耕作／フォトギャラリー

被爆70年の記憶…。

やまなみ短歌会／昭和10年の創設から80年

受け継がれた歌を作る喜び

竹の下物語／犬尾博治備忘録



株式会社 昭和堂

自費出版サロン ゆるり

「ゆるり」は長崎県内の
主なコミュニティ施設に
無料で配布しています。

海を超えたヒロシマ・ナガサキ

HIROSHIMA NAGASAKI BEYOND THE OCEAN

竹田信平 / 和氣直子 著



2005年から8年にわたり北米・南米在住の被爆者の体験談を現地にて収録した映像作家でアーティストの竹田信平さんと、米国ミシガン州立大学歴史学部の和氣直子教授の調査をまとめた本が出版されています。
写真をふんだんに使った日本語と英語併記の本で、北米・南米在住の被爆者の歴史と実態を明らかにした貴重な本です。

二〇〇四年にアメリカの映画監督のために、広島と長崎の被爆者の証言を同時通訳した。その時に学んだ原爆の凄まじさ、いまだに残る痛みと恐怖、人間の想像を超えるような情景を語る声に胸を打たれました。その翌年より国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館が実施する被爆証言の収集事業にも協力する。以来八年

▼被爆者との出会い
著者の竹田信平さん(三三)は、大阪出身。アメリカサンディエゴ大学卒業。映像作家でアーティスト。現在メキシコ・ティファナを拠点に「記憶」をテーマに写真、インタビュー、ドキュメンタリー映画等で活躍中。



の多くは、太平洋の両岸にまたがる、いわば「波瀾万丈」の人生を送って来ました。その人生は、被爆によって負わされた傷を心と身体に抱えながら生きる重みだけではなく、文化、風習、言語の違う社会で暮らすという複雑なものでした。
例えば結婚したアメリカ人の夫は原爆が戦争を終わらせるために必要であったという

被爆者の移住の理由は様々でした。戦前よりの移民体験者やその親族で被爆された方(広島や長崎は海外移住が比較的多かった地方に入る)や、戦後の困窮での海外移住者、結婚し渡米した人、被爆地から遠い所へ移りたい忘却願望の人など。
南北アメリカへ住む被爆者の多くは、太平洋の両岸にまたがる、いわば「波瀾万丈」の人生を送って来ました。その人生は、被爆によって負わされた傷を心と身体に抱えながら生きる重みだけではなく、文化、風習、言語の違う社会で暮らすという複雑なものでした。

▼北米・南米 被爆者の実態
間、北米・南米の国々に六十人以上の被爆者を訪ね、その話を聞きつづけてきました。
そのようななか、二〇一一年にアメリカ在住の被爆者の証言を独自に収録し、研究しているミシガン州立大学の歴史学者、和氣直子教授に出会い、その協力を得ることが可能になりました。



メキシコ市の原爆65周年祈念式典で体験談を話す山下泰昭さん(レフォルマ、2010年8月7日付)



メキシコ政府国連代表部と国連軍縮局の共催で行われた国連総会第一委員会のサイドイベントにて発言する山下泰昭さんとサーロー節子さん(2012年) 写真提供: 渡邊ゆみ

信条であったため、主人にも娘にも家庭においても被爆体験を話せなかった人。自分が被爆者だと知れると子供たちがいじめや差別に会うことを恐れて、後遺症のことも言えなかった人。被爆の後遺症に苦しみかつ原爆症の治療知識のない病院でのたらい回しや被爆者として結果的に差別に追い込まれてしまう環境がそこにありました。

▼**発信する被爆者たち**
 北米・南米在住被爆者は、自身や家族のために必死に働きながらさまざまな心配事、健康問題を取り越えてきました。このような人たちのなかから核兵器のない平和な社会をつくるため、自らの被爆体験を積極的に発信する人たちがいます。

今年、ニューヨークの国連本部で開かれていた核拡散防止条約(NPT)再検討会議は、五月二十二日に大きな課題が残る形で閉幕しました。会議には長崎・広島被爆者市民団体も渡米し被爆地からの核兵器廃絶の声を上げました。同会議には同じ被爆者として北米在住の方々も参加していました。本書にも登場しています。メキシコ在住で六歳の時に長崎で被爆した山下泰昭さん(七六)とカナダ在住で十三歳の時に広島で被爆し

たサーロー節子さん(八三)です。お二人は同会議中のフォーラムで広島・長崎への原爆投下を命じたトルーマン大統領の孫の男性(五七)と地元の高橋生二(〇〇)人を前に、被害の悲惨さや核兵器廃絶の必要性を訴えられました。

「海を超えたヒロシマ・ナガサキ」はアメリカ大陸に渡った被爆者とその社会的歴史的背景をもとに紹介する内容とともに、紙面の構成がまるで芸術的な写真集であるかのような内容に仕上がっています。映像作家でビジュアルを重視した感性がよく伝わってきます。

▼**企画展「竹田信平 アンチモニュメント」**

竹田信平さんの企画展が八月一日〜九月十三日まで長崎県美術館(長崎市出島町)で開かれます。

竹田さんは戦争被爆の体験をしていない人がいかに共鳴できるかをアーティストの視点から考えています。その表現が、収録した被爆証言を基に声紋(声の振れ)を視覚化するプロジェクトでした。展示空間全体を作品として体験

竹田さんの企画展が開催されます

8月1日(土)~9月13日(日) 長崎県美術館

竹田信平 アンチモニュメント

北米、南米に移住した被爆者たちの声を集め作品化しつづける竹田信平(1978年大阪府生まれ)の仕事、インスタレーションを中心に紹介します。

竹田信平 ベータ崩壊展展示風景(原爆の図丸木美術館、2013)



被爆・戦後70周年誌
過去から未来への継承
長崎県被爆者手帳友の会



～被爆・戦後70年を迎えて～
過去から未来への継承

被爆地から

被爆七十年を迎えて、被爆者の高齢化にもなう被爆体験の継承問題が大きく注目されています。被爆二、四世へのアンケート(長崎新聞社)では、被爆体験がない二世や一般市民でも被爆者の体験を後世に伝えることが「できる」「少しはできる」と答えた人が六割を超えました。被爆地長崎に生きる者として被爆体験を後世へ語り継ぐことの大切さは理解されているようですが、現実にはさまざま課題もあるようです。

被爆者による活動

長崎県被爆者手帳友の会(以下、友の会)は、発足以来四十八年間にわたって、被爆者自身による被爆者支援のための活動を続けてきまし

そんななか「長崎県被爆者手帳友の会」から『被爆・戦後七十年を迎えて』過去から未来への継承」という記念誌が、六月十九日に発刊されました。会の運動や平和活動の軌跡を紹介するとともに、この本でも被爆体験の継承が大きなテーマになっています。

た。その歴史を簡単に辿ってみましょう。

昭和三十二年四月「原子爆弾被爆者の医療等に関する法律」が施行され、約二十万人に「被爆者健康手帳」が交付されました。同年十二月十日に友の会の前身となる長崎県動員学徒犠牲者の会が発足。認定疾病に対する医療費の給付と無料健康診断だけだった支援策を充実、拡大させるための運動を続けていきました。



長崎の鐘 第1号

長崎市平和公園
被爆33回忌を迎えた昭和52年(1977)7月落成したものであって、原爆殉難者の冥福と世界の恒久平和を祈念して作製されたものです。
除幕式 8月5日の式典には、諸谷市長をはじめ被爆者1000名が参列して盛大に開催されました。



長崎の鐘 第2号

ソ連邦・レニングラード市
昭和63年(1988)8月9日、レニングラード市へ寄贈されました。除幕式には日本から122名が出席、地元カーニン地区から3000名を超える市民が参加し、日ソ友好、日ソ不戦を誓い合いました。レニングラード市は、第2次世界大戦でナチスドイツ軍に900日間も包囲され、60万人市民が戦争の犠牲になり、長崎同様甚大な犠牲を受けた都市です。

昭和四十二年「長崎県被爆者手帳友の会」が発足。被爆者特別措置法の施行や健康管理手当の支給対象拡大、被爆地域の拡大、医療特別手当の創設、全被爆者に対するがん検診の無料化、平成十五年には健康管理手当の受給期間を原則撤廃し永久的な支給制度とさせるなど、被爆者のための数多くの支援策を国から引き出してきました。
「これもすべて被爆者自身が声を上げ、闘い続けてきたことの結果です」と現会長の井原東洋一さんが力強く語っています。

長崎の願いを
鐘の音にのせて

毎月九日の午前十二時二分、あの日と同じ時刻に平和公園に鐘の音が響きます。鳴らしているのは友の会のメンバー、ときには修学旅行生や観光客もいっしょに綱を引く姿が見られます。この「長崎の鐘」は原爆三十三回忌となる昭和五十二年、友の会によって設置されました。除幕式には約一、〇〇〇名が参列し、平和への誓いを新たにしました。現在毎月九日には「長崎の鐘・9の日打鐘」が実施されています。

友の会は、これと同じ鐘を昭和六十三年八月九日にソ連レニングラード市(現在はロシアのサンクトペテルブルク市)に贈りました。さらに平成二年九月に中国瀋陽市、同年十二月には米国ハワイ州ホ



記憶を正しく記録し伝える。被爆体験を風化させてはならない思いで、これまでに残した記録集

ルルのパールハーバーと、日本の過去の戦争においてゆかりの深い都市にも贈りました。戦争の痛みをもっとも知る被爆者として、互いに戦争の加害も被害も認め合い、恒久平和を願いながら、民間レベルで交流の輪を広げてきました。

被爆体験の継承とジレンマ

被爆者の高齢化にともない被爆者健康手帳を持つ人は年々減り続け、昨年三月末で長崎市三万五八五七人、長崎県では五万二六九人、平均年



座談会
被爆二世の時代
—いま継承すべきこと—

齢は七十九・四四歳と傘寿を迎えようとしています。

これまで友の会では「核も戦争もない地球を、未来の子どもたちに伝えたい」をスローガンに、被爆者の証言活動など被爆体験の継承についても積極的に活動を進めてきました。この本では、「未来へ高校生との座談会」、「被爆二世との座談会」を企画し、若い世代への継承をどのように進めていくか、互いの考えを卒直に話し合っています。

被爆二世とは両親、または父母どちらかが被爆者で、長崎の場合は昭和二十一年六月四日以降に生まれた人を言います。現在は被爆二世に対する遺傳的影響の有無は明言されてはいません。しかし、座談会に出席した四人の二世の会のメンバーは異口同音に、自分自身だけでなく兄弟や子(二世)や孫(四世)にまで目に見えない放射能の被害が及ぶのではないかと、健康についての不安を抱えていることが切実に語られました。同時に、被爆者の思いと身近に寄り添ってきた子どもとして、親の被爆体験とその思いをどのように次代に伝えるべきかジレンマも抱えています。

また高校生との座談会に招かれた高校生二万人署名活



長崎の鐘 第3号

中国・瀋陽市

日本軍が中国侵略を開始した柳条湖事件の地である瀋陽市に寄贈されました。平成2年(1990年)9月18日、市内の青年公園で除幕式が開催され、長崎から85名が出席しました。侵略行為を市民の立場から謝罪するとともに、日中友好、日中不戦の誓いを固め、その後日中の参加者がスクラムを組み、市内をデモ行進し、歴史的な式典となりました。さらに、瀋陽市のほか北京、上海市を訪問して中国人民との交流を深め、特に北京での人民大会堂における呉学謙副首相との会談や、釣魚台国賓館における大歓迎パーティーは圧巻でした。

動のメンバー、西田凌さんと平田尚文さん、第十七代高校生平和大使を務める竹内彩華さんの三人は、日頃から平和活動に積極的に取り組んでおり、被爆者との関わりも平和問題への関心も一般の高校生より深いのですが、それでも「実際の体験を持たない自分たちが、どのようにして自分と同じように原爆を知らない世代の仲間伝えてい



長崎の鐘 第4号

ハワイ・ホノルル市

日米開戦の発端となり、真珠湾攻撃(1941年)の舞台となったパールハーバーへ。平成2年(1990年)12月8日(現地12月7日)ホノルル市役所横のシビックセンターで除幕式が開催されました。長崎から62名の代表が出席、地元からはハワイ州知事をはじめホノルル市の反核市民活動家などが多数参加し、日米親善・世界平和・反核・不戦を誓い合い、成功のうちに終了しました。

けるのかを模索している」と言います。また原発の問題にも触れ、「目先の問題を解決するためだけに核を使っても、その後始末をするのは次の世代。その後始末までするのは自分の子どもや孫やひ孫が笑顔で平和に過ごせるためにも核

兵器だけでなく原子力の使用についてもしっかり考えていかなくてはならないと思う」と、3・11の福島原発事故を通して身近にある核問題への関心も示していました。竹内さんからは自分自身が教育者となって、被爆問題に関心の薄い他県で平和教育を試みたいという将来の抱負も聞かれ、平和活動のすそ野を広げるための若い力が育っていることを期待させる座談会となっております。



未来へ高校生との座談会
平和な社会の継承のために
いま伝えたいもの



特攻戦艦大和 高射長川崎勝己

—日米開戦から連合艦隊終焉までの人生ドラマ—

大和研究者 指山 満治 / 元第十七駆逐隊軍医長 佛坂 泰治 共著



A4 判 90P 2,300円(税込み、送料込み)



分隊長以上 (大和ガールズチーム集合写真)

前列左3人目川崎勝己中佐

▼同級生のことから
父親のことから
昭和二十三年四月、指山さんは佐賀県鹿島町立小学校へ入学。終戦後まもないころ栄養不足で痩せこけた覇気のない少年少女の群れの中に背筋をピンと伸ばし、異人種のような凜として輝く女の子がいました。その子の父親が戦

執筆者である指山満治さんは、昭和十六年、佐賀県鹿島市生まれ、宮崎大学農学部卒。長崎県庁勤務、平成十四年定年退職。昨年「長崎県亜熱帯植物園開設記録誌」役場&県庁マンが燃えた」を自費出版されました。今回はライフワークである戦艦大和をテーマに二冊目の出版です。

艦大和の高級士官で沖繩へ水上特攻出撃され、「大和」と運命を共にされたことを知り、少年時代から特別の関心を持たれていました。
▼「男達の大和」で
知ったこと
平成十六年に発行された、

迎見淳著「男達の大和」(新田次郎文学賞受賞作)を読み、その子の父、川崎勝己中佐(死後中佐)は、対空戦闘の要である高射長という重責を担って沖繩へ特攻出撃。奮闘むなしく大和は沈み、その時、海面に投げ出され九死に一生を得ながらも、対空戦敗北の責任を一身に背負い、生き残った駆逐艦の救助に背を向け、波間に消えられたことをこの本で知り衝撃を受けます。
川崎中佐は、名門佐賀中を

経て江田島海軍兵学校卒業後出征。真珠湾攻撃以来、幾度もの死戦を越え、主要海戦の全てを戦った強者でした。戦闘にのぞんでは万一の漂流にそなえポケットに羊羹をしのばせ、生きること執着した川崎中佐が最期の土壇場で、なぜ愛する家族のために生きようと思えなかったのか。それを知るために本書の執筆に入りました。

▼佛坂元軍医との出会い

川崎中佐の人物像を知るため、千葉県在住の川崎夫人宅へ訪問。当時八十九歳の高齢にもかかわらず、驚くべき記憶力で思い出を語っていただきました。
夫人がいつもそばに於いておられた古いアルバムの中に、昭和二十年一月大和艦上で撮影された分隊長以上の集合写真があり、写真の裏書きに「川崎最後の写真」とありま

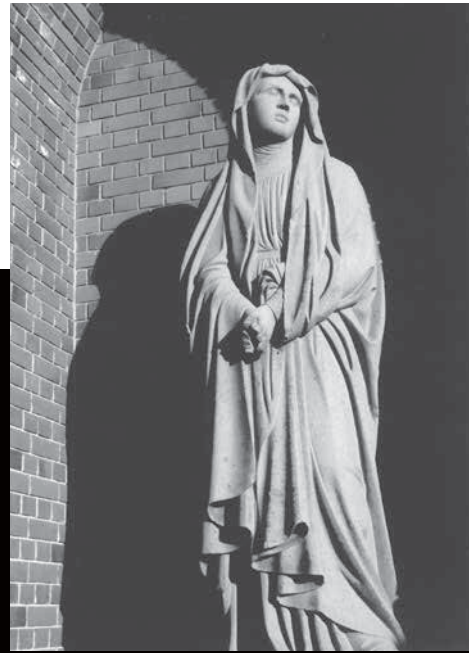


(左)指山満治氏 (右)佛坂泰治医学博士

した。この写真を寄贈された方が、佐賀県杵島郡三間坂村、三間坂駅通り、佛坂医院・元駆逐艦「雪風」軍医長・佛坂泰治氏でした。私の故郷の隣町に「大和の生き証人」がいました。
佛坂医師の元へ昭和四十年、戦友から「遺族らに届けてほしい」と大和で撮影された集合写真五枚を託されました。乗組員の九割を超える三〇五六人が戦死。軍律で、身内へも大和乗船を伝えることも禁じられていた状況で「最後の写真」となった集合写真。佛坂さんと指山さんは共に「大和と乗組員の最後の姿を伝えるという、生き残った者とその意志を引き継ぐ者としての使命を果したい」と話しています。
問い合わせは指山さん(〇九五・八四七・三〇一九)へ。

「被爆70年の記憶…」

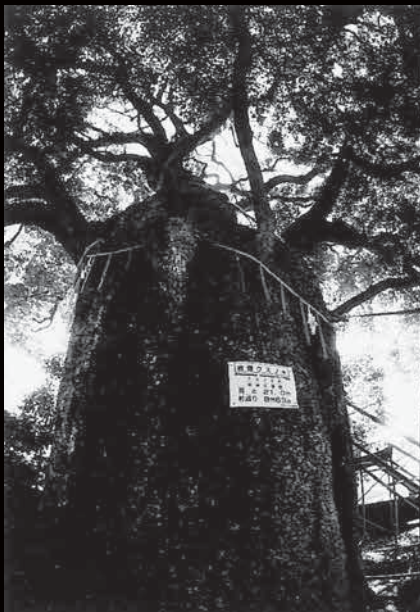
1945年8月9日 11時2分、長崎に原子爆弾が投下されてから70年を迎える。70年という歳月が意味するものは何か?如何なる理由があっても原子爆弾を投下した人類が犯した罪を、決して忘れ去ってはならない。写真家として原爆遺構を目の前にするたびに「風化しつつある現実から視線を逸らさず」人類の永遠の記憶として一枚でも多くシャッターを切ることが、長崎人の私に与えられた責任だと思う。これからも平和の大切さを、戦争の悲惨さをモノクロームの写真で訴え続けていきたい。



No.23 「被爆聖像II」



「ながさきの記憶」二枚組 “1945・8・9 11時2分”



ながさきの印象 三枚組 「被爆クスノキ」



「二十六聖人殉教の地(西坂の丘)」



「一本柱の二の鳥居」



「聖像達の記憶」



「被爆マリアの祈り」

浜辺 耕作 Profile

1946年11月、長崎県外海町黒崎に生まれる。
「空は一つ」ONE SKY ONE WORLDをテーマに国内外で、写真展を開催している。
「国展」国画会新人賞、齋木賞受賞。
「ながさきの記憶」二枚組「三軌展」三軌会新人賞・北海道写真の町「東川賞」受賞。

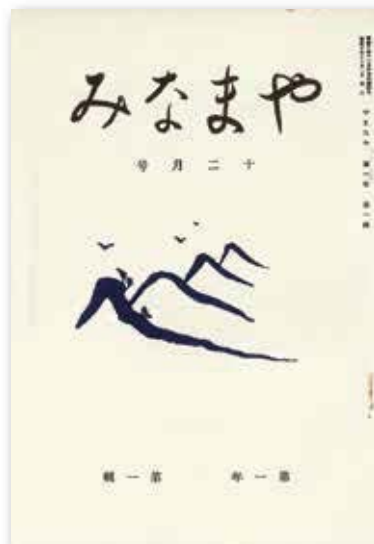
現在、日本写真協会PSJ会員、
日本公募美術団体「三軌会」会員、
諫早市芸術文化連盟会員



特集
未来への
継承

やまなみ短歌会

昭和十年の創設から
八十年受け継がれた歌を作る喜び



やまなみ 創刊号 (昭和10年12月)



菊池 剣先生 (明治26~昭和52年)

▼歌誌「やまなみ」の 創刊と菊池剣

やまなみ短歌会は、昭和十
(一九三五)年、早岐の前田
博が菊池剣を顧問に迎え「山
脈社」を創設したことに始ま
り、同年十二月に歌誌「やま
なみ」が創刊された。

福岡県出身の歌人菊池剣
は、大正から昭和にかけて軍
隊生活を題材とする短歌を詠
み、当時の歌壇に独自の境地
を切り拓いたことで知られて
いる。また戦後は、一時休刊
していた「やまなみ」の編集
発刊に尽力するとともに、「地
方歌誌尊重論」を掲げ、後進
の育成にも力を入れた。以来、
「やまなみ」とその歌作りの
精神は、創刊から八十年間に
渡って脈々と受け継がれ、歌
を作る喜びを通じて多くの会
員たちの心の支えとなり続け
てきた。

▼戦争の記憶

「やまなみ」の終戦前後に
おける休刊は、物資不足によ
り用紙の確保が困難となった
ことによる。しかし、昭和二
十一年には福岡県黒木町を生
活の拠点とした菊池剣を中心
に復刊され、会員を増強する
などして戦後七十年の新たな
時代を築いてゆくこととなっ
た。

そうしたなかで、戦争の記
憶を刻んだやまなみ歌人の作
品には次のようなものがあ
る。

おのづからまなぶた熱くなりて
聴く思ひつめたる学徒の言葉
菊池 剣

家もなくうからもあらぬ故郷
に身一つにして帰りゆく兵
菊池 剣

胸痛きことのごとごと忘れよ
や忘れよやとぞ土うち砕く
菊池 剣

焼跡のそこここに餘燼けぶり
ある八月眞晝の瓦礫踏みゆく
草野 源一郎

方位感失ひしまま従ひて巨木
倒れし焼原をこゆ
草野 源一郎

▼長崎県の やまなみ歌人たち

創設者の菊池剣亡き後、発
行所は長崎市に移され、秦美
穂(はたよしほ)が編集発行
にあたった。さらに、諫早市
での編集発行、長崎・諫早交
互編集の時代を経て、諫早の
草野源一郎が編集発行にあ
たった時代へと続いてゆく。

それまでのいわば発展期を
支えた長崎県内のやまなみ歌
人には、「山脈社」の創設を
発案した前田博を始め、秦美
穂、古賀明、綾部秀人、草野
源一郎などがいた。

諫早の草野源一郎、妙子夫
妻は全国レベルの歌人である
と共に、菊池剣の「地方歌誌
尊重論」そのままに地元
じっくりと腰を据えて歌の指
導を行った。こうした選者に
よる指導体制は、現在でも全
国の各支部ごとにしつかりと
構築されている。(現在、諫早
支部の選者は、大我幸藏、長
島洋子の両先生。)

やまなみ

小崎 侃(こざきかん)氏の手による歌誌の題字(昭和63年1月号より)



やまなみ全国大会(創刊70周年、平成17年当時)

▼やまなみ短歌会の年間活動

やまなみ短歌会の支部は現在、長崎、諫早、佐世保、島原、福岡、小郡、八女、筑後、久留米、高松、高知、東京の十二か所。会員の全国分布は、新潟県から鹿児島県屋久島までと広域なものとなっている。

それらの全国会員の心を結ぶ絆ともいべきものが月刊の歌誌「やまなみ」であり、

また、支部単位では毎月「歌会」(選者と会員の勉強会)が開催されている。そのほか、年に一度の全国大会には各支部から会員が集まり、大会歌会や懇親会などで楽しく学びつつさらに親睦を深めている。

また、「やまなみ」では毎年、やまなみ賞、新人賞、芥火賞(二十首競作)の発表が行われ、受賞者・作品の紹介や授賞理由等の記事が誌面を飾ることとなる。さらに、多くの会員

が各地の文芸大会に参加するなどして研鑽を積み活躍している。

▼会の近況と平成二十七年度の活動予定

各種の趣味の世界では高齢化が言われているが、一方で中高年が活発に活動しているという現実もある。やまなみ短歌会では、総合短歌雑誌への広告の掲載などを通じて幅広い年代層に向けて入会を募っており、現役会員は二十代から九十代に亘っている。

なお、平成二十七年度の活動としては九月の全国大会のほか、特に発足八十周年記念事業の一環として、「やまなみ」特集号の刊行(十一月号)、合同歌集の編纂刊行(年内)などを予定している。

このように、定例の年間活動、さらには節目ごとの各種事業を通じて会の結束が図られてきており、平明にして穏やかな作風を旨とする「やまなみ」の伝統は、会員それぞれの個性を尊重しつつ、今後とも末永く継承されることだろう。

歌会・短歌講座のご案内

▼県内在住の幅広い年齢層が活動中

短歌は五・七・五・七・七の調べに乗せて、見た物心に浮かんだことなどを表現する定型詩です。ちょうど日記を書くように、日々の歌ができあがり、歌の仲間との交流を通じてそれらがより良い作品となるよう研鑽を積んで行きます。

「やまなみ短歌会」では、月一回の歌会、同じく短歌講座(初心者にとつてより理解し易い指導を行う勉強会)を開催しております。歌作りは決して難しいものではなく、また、当会の歌会、短歌講座への出席、



編集風景

やまなみ短歌会 諫早支部の活動

	①歌会	②短歌講座
活動日	毎月第2日曜日	毎月第1木曜日
会場	諫早図書館	諫早市中央公民館
会費	1,000円	無料
窓口担当	草野 百合子	長島 洋子

お問合せ：諫早市本明町459 草野百合子
TEL.0957-25-2270

歌誌「やまなみ」の講読を通じて歌の仲間とお付き合いが広がって行く、という風にお考え下さり、気軽にご参加いただきたいと考えております。

なお、「やまなみ短歌会」は全国の支部に選者と会員を有しており、よりレベルの高い活動も可能となっております。

まずは短歌の初心者の方々が、短歌講座において下さり、短歌の魅力を知っていただければ幸いです。



やまなみ平成27年7月号



竹の下物語

犬尾博治 備忘録



著者の犬尾博治さんは、諫早市泉町（通称「竹の下」）で江戸後期から代々続く内科医師。現在は医師として、五代目にあたる長男に病院を譲り、諫早ロータリークラブの会員としてさまざまな活動を続けておられます。大学時代から折りにふれ書きつづってきた文章を中心に、戦時中の貴重な資料なども加えた本が間もなく出版されます。

▼二十六個の封筒にぎっしり

「もともと書くことは嫌いじゃなかったですね。とくに医者になってから書く機会が増えました。若い頃は大学の同窓会誌にも寄稿したり、医師会報の編集担当をしていました。書く内容は日々の医療



回春堂扁額 草場佩川書
犬尾文郁が医院名を佐賀での恩師牧春堂より一文字いただき「回春堂」とする



■A5判/400頁/ソフトカバー
表紙写真 明治34年 犬尾文友（中央）と家族竹の下自宅



現場で感じたことや時事問題、読んだ本の書評や趣味の旅行に関することもたくさん書きましたね。医療制度に関する問題などで、大事なことなのに医療関係者だけしか知らないのはおかしいゾと思う時には、新聞にも投稿していました。そんなふうにして書いたものや印刷されたものはコピーを取って、分野別に大判の封筒に入れておりました。それがどんどん増えてし

まあって。いつかまとめて本にできればいいなあと思っただけなのですが、あまりにも範囲が広くて、自分では收拾がつかなくなっていたのです。そんな折に昭和堂ゆるりから、過去に書いた文章と文章をつなぎながら歴史をまとめましたら、というご提案をいただいたのです。古い家でもありますし、資料や写真もある程度揃っていましたので、先祖が竹の下に住み始めた頃を始点にして書き始めました。過去の自分が書いた文章を読み返すことで、新しい自分に出会えたような不思議な気持ちを感じています」。

▼竹の下に暮らす

著者の犬尾博治さんは、「犬尾」という姓を頼りに全国の「犬尾さん」を探し出し、佐賀県塩田町をルーツと推定。『諫早医史』によると天保五年（一八三四）の佐賀藩医師調書に登場する犬尾文郁とい



戦前からの看板

う人物が諫早藩での医家・犬尾家の初代ということも判明しました。本文中に掲載された藩主諫早茂喬公からの謝表や古地図に記された諫早藩の医家分布図など、歴史書としての楽しみ方もできる半面、文郁、文友、寅九郎（祖父）、貞治（父）と続く個性豊かな人物伝からも、ふるさと竹の下と犬尾家の歴史が垣間見えてきます。

▼B29墜落の衝撃

犬尾さんの少年の日の強烈な思い出として、昭和十九年（一九四四）十一月二十一日に小長井町小川原町の五〇〇m沖の海上に墜落したB29重爆撃機を見に行ったことが書かれています。当時十歳だった犬尾少年は、友達と連れ立って墜落現場まで行き、海岸に引き上げられた搭乗員の四人の遺体を見ます。「鬼畜」と教えられていた米兵は人間の姿で、ピンクの肌をしてい



昭和32年7月 諫早大水害にみまわれた竹の下界隈
犬尾病院外来2階より竹の下交差点



昭和18年 家族（長男博治、父貞治、祖母サイ、三男修三、母朝子、四男貞文、次男武彦）と従業員の方々



南海の零式戦闘機 パラオにて 1984年



バブアニューギニア ラバウル港で 2005年



竹の下バス停と犬尾医院 現在



診察室にて

ました。犬尾少年の心に深く刻まれた戦争の記憶です。

その後、多忙な医業の傍ら、この時墜落したB29爆撃機について追跡調査をおこない、詳細なレポートを昭和六十年発行の『諫早文化』に発表しました。本書にも全文掲載しています。犬尾さんは「あの戦争」の自分なりの答えを探すため、数多くの戦記本を読んできました。蔵書は四〇〇冊を超え、そのほとんどをつい先ごろ多良見図書館に寄贈されました。蔵書のリストは本書の十二ページに亘ります。

また、昭和四十六年（一九七一）からほぼ毎年、巡礼にも似た南方の戦地を訪ねる旅を続けています。

「昭和一桁にとつては南洋はまた戦蹟の地である。ペリリューやアンガウルでは今も出てくる遺骨を、無造作にビニール袋に入れてあった。沈船七十隻のトラック環礁ではかつて第四艦隊司令部のあった夏島や、航空基地の竹島もジャングルと化してはいる。が附近の海中では彗星艦爆や沈船をシュノーケルでも見ることがができる（一部抜粋）」

そのほか多数掲載された旅の手記も読み応えがあります。

▼ドクター犬尾奮闘記

ベッド数が十九床以下の入院施設のある診療所を「有床診療所」と言います。病院と医院（診療所）の違いも分からない一般の人には耳慣れない単語ですが、医療制度改革において地域医療に果たす役割を十分に理解されないことへの反発や苛立ちを代弁するように諫早医師会、長崎県医師会を代表してドクター犬尾が理路整然と、ある時は怒りを込めてペンを揮った記事を時系列で掲載しています。

その他、父貞治氏が叙勲の際にしたためた思い出の記や、六十八歳で亡くなった弟修三氏が末期がんの宣告を受けた直後から一カ月で書き上げた手記、奥様やご子息の記事など、著者以外の文章も織り交ぜながら、推敲を重ねながら編集を進めています。これまでの自伝とはひと味違った、奥行きのある「家伝」に仕上がります。



学友村山暁（中央） 大多和泰憲
九大医学部三年時 正門

五島雑学事典

永治 克行 ● 2,057円



長崎いさな物語

浦上 修 ● 1,296円



長崎半島・汚池姫伝説の謎

境 俊幸 ● 1,028円



諫早を歩く

山口 八郎 ● 850円



諫早地方の風土

諫早史談会 ● 5,000円



諫早史談

諫早史談会 ● 600円



諫江百話

諫江史談会 ● 2,000円



諫早史談の年輪

(株)昭和堂 ● 2,100円



諫早文化の年輪

(株)昭和堂 ● 2,100円



もう二人の少年使節ドランド

青山 敦夫 ● 1,200円



九州の石橋

(前中:後編) ● 1,500円
(中編) ● 1,300円
(後編) ● 1,100円



島原藩の経済

高木 繁幸 ● 2,571円



ふるさとの昔

宮崎昌次郎 ● 1,620円



島原ちゃんば

洪江 鉄郎 ● 1,950円



島原一揆

洪江 鉄郎 ● 1,400円



眉山ものがたり

洪江 鉄郎 ● 980円



島原ばなし

洪江 鉄郎 ● 1,280円



島原秘話

洪江 鉄郎 ● 1,400円



島原魂

洪江 鉄郎 ● 1,900円



島原城の話

洪江 鉄郎 ● 1,480円



誰も知らないお経の真理(I)

大嶽 巖 ● 1,543円



長崎県史のスミレ

植田 成文 ● 1,296円



身体にたのもう!

植田 成文 ● 1,944円



ながさきの子ども等

学校生活編/地域の暮らし編/自然・社会・平和への願い編
永山 絹枝 ● 各1,234円



決先生の外国史講義

宇田川 決 ● 2,160円



西陲騎葩(せいすいきは)

邑上 益朗 ● 2,800円



Assendelft (アッセンデルフト)

金丸 洋子 ● 3,240円



たぬきのおくのほそ道

堤 けんじ ● 3,086円



松林重宗水彩画集

松林 重宗 ● 3,240円



長崎を描いてさるく

松林 重宗 ● 2,160円



命のすじみち

緒方 源信 ● 720円



共存の心やわらぐ長崎の街

緒方 源信 ● 720円



生きる心の綾錦

緒方 源信 ● 823円



日本人の心はおもしろか

緒方 源信 ● 823円



ディアコニー

E・バイロイター著
山城 順訳 ● 2,700円



JOFFA式フラワーアレンジ

日本オリジナルフラワー協会 ● 1,296円



英文法徹底詳述集

1冠詞編
一宅 仁 ● 3,024円



365 + 0 micca

Nicca ● 864円



じゅんくんあそぼ

作/東フミ子
絵/関口拓志 ● 1,296円



ゆうたくんごめんね

作/東フミ子
絵/関口拓志 ● 1,080円




NEW 新刊紹介

出版本

ここで紹介する出版本は、サロンゆるりまでお気軽にお問い合わせください。

玉鈴 水墨画集

—墨色の千変万化に 魅せられて—



田村 玉鈴

- 判型: 225×297mm
- 頁数: 100頁
- 製本: 糸綴じ製本
- 定価: 4,860円(税込)

長崎県の馬

—盛衰の歴史と その痕跡—




村上 誠

- 判型: A5判
- 頁数: 142頁
- 製本: ガンダレ製本
- 定価: 非売品

楠本イネの生涯

奈華 よしこ作

シーボルト宅跡保存 基金管理委員会




- 判型: B5判
- 頁数: 78頁
- 製本: 並製本
- 定価: お問い合わせは シーボルト記念館095-823-0707まで

長崎県諫早市 田中家の記録

明治、大正、昭和、平成

田中 謙治



- 判型: A4判
- 頁数: 120頁
- 製本: 上製本
- 定価: 非売品

つぶやき百話

新聞投稿掲載 100回です!!

相川 光正



- 判型: B5判
- 頁数: 114頁
- 製本: 並製本
- 定価: 非売品

自分史ノート 「自分史のスズメ」 ゆるり書房 ● 864円

神様からの贈りもの 幸夏 涼 ● 1,296円

きくちゃんの詩 ひらた きくよ ● 1,296円

Vol.2 きくちゃんのうた ひらた きくよ ● 1,620円

キラキラ 人生を輝かせる たった5つの大切なこと じつまなみ ● 1,620円



諏訪神事 長崎くんち 取材記録 土肥原弘久 ● 2,160円

昭和20年8月 長崎市地図 出口 輝夫 ● 540円

塩飽史 江戸時代の公儀船方 吉田 幸男 ● 2,700円

未知への道 中村 士規 ● 1,028円

老いの細道メモリー 中村 士規 ● 1,028円

気づいた時が 出発点 一ノ瀬恵介久嗣裕士 ● 514円



俳句のすすめ 築城百々平 ● 1,234円

イツモノ・イツカ 白石加奈子・江崎 純子 ● 1,234円

ソシテ・イマデモ 城 加奈子・青木 純子 ● 1,234円

訓薫諫甘 宮城 ま咲 ● 1,296円

おくさん 松田 純子 ● 540円

夜のカナリアたち 森 ぶんめい ● 823円



たゆたう(二)~(十) 松本 風作 ●各1,028円



(二) (三) (四) (五) (六) (八)

再建

昭和32年7月26日早朝、記録的な降雨と濁流によって全てが崩壊し、無となった。



流失

厳しい環境の中ではあったが、日々の経営活動を進める中にも、将来に向け再建計画を着実に進めた。

創立

昭和26年4月、謄写版印刷のプロとして、諫早市八天町において「諫早美術謄写堂」を設立。



昭和45年頃、東部厚生町本社工場

飛躍

常に将来を見据え、勇気を持って、新しい機械設備などに果敢に挑戦した。

お客様に支えられて…

株式会社 昭和堂は65周年を迎えました。

「どんな時代でもお客様にお役立ちできる百年企業」
昭和堂NEXTを目指して。

次代への伸展



特殊印刷分野
LED-UV印刷機
(V-3000)



商品パッケージ印刷への参入(パッケージ・POP等)



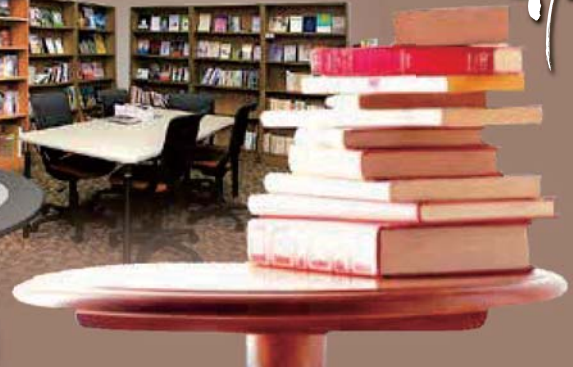
カラフルな色彩のカーマーケティング(サイン事業)



あなたの想いを本にしませんか



『ゆるり』とは、囲炉裏の意味。囲炉裏を
囲むように、皆さんで集まっていただけ
の空間に・・・との願いが込められてい
ます。
和の雰囲気を感ぜられる空間で、
ゆっくりゆるりと、本づくり談義に花を
咲かせてみてはいかがでしょうか。



自費出版サロン

昭和堂ギャラリー
Showado Gallery KOFU

ゆるり 好風

貸
ギャラリー
お申し込み
受付中

TEL.095-828-1790

TEL.095-821-1240

FAX.095-823-8740 <http://www.showado.co.jp>
〒850-0875 長崎市栄町6-23 昭和堂ビル2F

ココなら

本づくりと展示会同時にできます!

ギャラリー「好風」はアートギャラリーとして、絵画、写真、美術工芸作品などの
個展、グループ展の展示や発表の場としてご利用いただけます。

芸術作品の展示だけでなく、催し物等のオープンスペースとしてのご利用もできます。



NBC
ラジオ
モニタ
サタデー

『昭和堂
笑顔のレシピ』

毎週金曜
あさ10:35より

放送中
きいてネ!!



情報コンピニ
午後
ココ

『スローライフ
人生輝きのオススメ』
ゆるりのお客様サークル紹介
毎月第3木曜日
ひる2:00より

お腹がなったら
きのこづくしの
お昼ご飯。

最新全国
おとりよせグルメ
第6位!

2015年
4月27日放送

ヒルナンデスで紹介されました!



人気の養々麺をはじめ、
雲仙・島原のお土産がいっぱい!!



知っていますか?
きのこたっぷり養々麺が
お店で食べられるんです!!

きのこ本舗の直売店
『雲か山か 愛野店』は、きのこ屋が
つくったつろぎ処。おいしいきのこ
体にやさしいこだわりの食品、そして
ここで過ごすつろぎの時間を、
どうぞ、ごゆるりとお楽しみください。

きのこ
もぎとり体験も
できます!

お客様の声

麺ののどごしが気に入ってます。

85歳になる義父がのみこみがうまいかず、
食事できおむせることがありました。のど
ごしのよいこの麺を頂いてから、すっかり喜ん
で食べるようになりました。老人には本当によ
い食べ物ではないかと思ひますし、又、子ど
もの離乳期などにもとても良いと思ひます。ぜ
ひまた美味しいものを期待しております。

宮城県 40代女性

長崎の思い出が
なつかしくて。

子供の頃、長崎に居りまして
雲仙にも行きました。戦前で
車でジグザグ登り少しよって
しまいました。なつかしくて注
文しました。美味しゅうござ
いました。

静岡県 80代女性

兄弟、友人へも
勧めています。

私79歳、丁度私のような年
寄りに向いております。重宝
してありまして、兄弟他友人
に差し上げたりお節介をして
おります。

東京都 70代女性

団体の
お客様も
随時
受付中!!

雲仙・島原おいしさ処
雲か山か
雲仙きのこ本舗

雲仙きのこ本舗

検索

愛野店(直営店)

TEL/FAX 0957-27-5180
長崎県雲仙市愛野町乙5552-8
【営業時間】10:00~18:00
【ランチ】11:00~14:30
【定休日】毎週水曜日

雲仙店

TEL 0957-75-6200
長崎県雲仙市小浜町雲仙319
【営業時間】10:00~17:30
【定休日】毎週水曜日

ゆるり読者様限定!!
「ゆるりをみた!」で

1,500円以上(税込)
お買いものされた方は
**養々麺1個
プレゼント!**

有効期間~H27.8.1(土)まで